

2012年4月26日

2012年度の鉄道事業設備投資計画

設備投資計画は総額296億円

～安全・安定輸送対策工事を引き続き推進します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2012年度に鉄道事業において総額296億円の設備投資を行い、安全・安定輸送対策、お客さまサービスの向上、鉄道ネットワークの拡充および環境対策を推進し、お客さまに安心して、より便利に、そしてより快適にご利用いただけるように努めます。

1 安全・安定輸送対策

（東上線新運転保安システムの構築）

東上線においては、現行のATS（自動列車停止装置）に代え、より高性能なATC（自動列車制御装置：前方に走行中の列車の位置から列車速度を制御する装置）を導入することとし、2015年度の完成を目指し、池袋～小川町間で引き続き工事を推進いたします。

東武型ATCは、車上・地上間情報伝送装置から得た線路情報（列車間距離・勾配等）によりスムーズな速度制御を実現させるほか、踏切支障時の防護機能や停車駅の誤通過防止などへの拡張性も持たせたものです。

（高架化工事の推進）

・竹ノ塚駅付近高架化工事

東武スカイツリーライン西新井～谷塚間において計画を進めている連続立体交差化工事について、2012年3月30日付けで足立区と施行協定を締結しました。

2012年度より本格的な工事に着手し、2020年度の事業完成を目指して進めてまいります。

なお、この工事が完成すると竹ノ塚駅が高架駅となり、2箇所の踏切が除却されます。



竹ノ塚駅付近高架化完了後イメージ

・伊勢崎駅付近高架化工事

伊勢崎線剛志～伊勢崎間において、群馬県の都市計画事業として連続立体交差化工事を施行中であり、2014年度の完成を目指して進めてまいります。

なお、この工事が完成すると新伊勢崎駅と伊勢崎駅の2駅が高架駅となり、13箇所の踏切が除却されます。



伊勢崎駅付近高架化工事

・清水公園～梅郷間高架化工事

野田線清水公園～梅郷間において、千葉県の都市計画事業として連続立体交差化工事を施行中であり、2017年度の完成を目指して進めてまいります。

なお、この工事が完成すると愛宕駅と野田市駅の2駅が高架駅となり、11箇所の踏切が除却されます。



愛宕駅付近高架化完了後イメージ

(線路・電気等施設の更新、改良)

高架橋・長大橋梁・盛土区間等に対する防災対策、線路の重軌条化・弾性ポイント化・ロングレール化等の軌道強化、改修時期となった駅舎・跨線橋・ホーム上家等の改修および電気設備の更新改良等を計画的に推進します。

また、踏切においては、さらなる安全性向上を目指し、踏切が支障した場合に踏切に設置された「押ボタン」を操作すると、ATS（自動列車停止装置）と連動し、列車を停止させる工事を前年度に引き続き推進いたします。



高架橋柱耐震補強工事

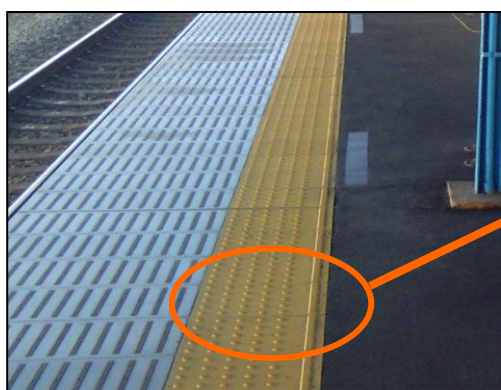


橋梁改修工事（橋脚耐震補強）

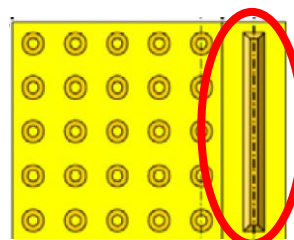
(駅の安全対策)

より安全に駅をご利用いただけるよう、発車案内放送装置・転落支障報知装置の新設、非常停止ボタンの増設等を行います。

また、駅ホームの安全対策については、国土交通省から2011年8月に示された中間とりまとめを受けて検討を進めております。2012年度は、利用者数10万人以上の駅全9駅のうち、北千住、新越谷、池袋、和光市、朝霞台、川越の6駅、および利用者数1万人以上の浅草、とうきょうスカイツリー、押上、梅島、上板橋、下赤塚、川越市の7駅に点状ブロックへの内方線整備を実施いたします。



内方線付き点状ブロック



内方線

目の不自由なお客さまにホームの内側をお知らせするブロックです。

2 お客さまサービスの向上

(特急車両のリニューアル)

2012年5月22日開業の東京スカイツリータウン®および観光拠点である浅草と日光・鬼怒川地区を結ぶ100系車両スペーシアを、より快適にご利用いただけるよう、座席・内装の改装を行うとともに、外装を東京スカイツリー®ライティングデザイン「雅」と「粋」、「サニーコーラルオレンジ」の3種の基調カラーリングへリニューアルする工事を前年度に引き続き実施し、2012年秋には全編成のリニューアルが完成いたします。



「雅」基調カラーリング車両



「粋」基調カラーリング車両



「サニーコーラルオレンジ」
基調カラーリング車両



一般席



コンパートメントルーム

(通勤用車両の新造)

野田線に新型車両2編成12両を新造します。新型車両は代替する8000系車両に比べ、バリアフリー・省エネルギー・省メンテナンス化により使用電力が約40%削減となるほか、車内案内用液晶ディスプレイを設置するなど、人と環境にやさしい車両となります。



現行 野田線8000系車

(通勤用車両のリニューアル)

10000系通勤用車両26両をリニューアルし、車いすスペースや車内案内表示器設置等のバリアフリー化など、車内の快適性を向上させるとともに、車両冷房機の冷媒を地球温暖化に対する影響が少ない代替フロンに変更いたします。



10000系車両

(浅草駅のリニューアル)

東京スカイツリータウン®をはじめ日光・鬼怒川といった観光地への玄関口となる浅草駅のリニューアルを浅草駅ビルの改修・耐震補強工事（2012年秋完成予定）に合わせ推進いたします。

2012年度は、正面口階段・コンコースの改修、照明のLED化およびカフェを併設した待合室新設等の工事を実施いたします。



レトロ調に装う浅草駅リニューアル

(運行情報ディスプレイの新設)

東京スカイツリータウン開業により、当社沿線に不慣れなお客さまが多数お越しになることが想定されるため、浅草駅、とうきょうスカイツリー駅に、路線図形式の画面でご案内できる運行情報ディスプレイを設置いたします。



運行情報ディスプレイ

(駅施設のバリアフリー化)

全てのお客さまにご利用しやすい駅施設を目指し、2011年3月に改正された移動等円滑化の促進に関する基本方針の整備目標に沿って、バリアフリー化工事を推進します。2012年度は、エレベーターを5駅および多機能トイレ（個室）を4駅に設置します。

| 路線名 | 駅名 | エレベーター | 多機能トイレ |
|-----------------|-------|-------------|--------|
| 東武 スカイツリーライン | 北千住 | 2基(中央コンコース) | - |
| | せんげん台 | 1基(西口) | - |
| 日光線 | 鬼怒川温泉 | 2基 | - |
| 亀戸線 | 亀戸水神 | - | 1個室 |
| 野田線 | 新船橋 | 2基 | 1個室 |
| | 運河 | 2基 | 1個室 |
| 越生線 | 西大家 | - | 1個室 |

3 鉄道ネットワークの拡充

(東急東横線・みなとみらい線相互直通運転の開始)

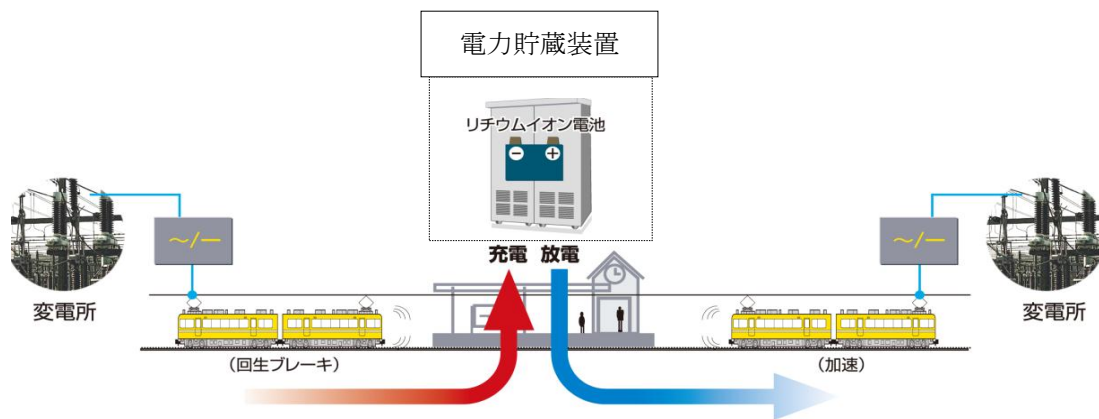
東上線においては、東京メトロ副都心線を経由し、東急東横線・みなとみらい線までの相互直通運転を2012年度に開始する計画であり、乗入対応工事を引き続き推進いたします。

これにより、首都圏西南部地区との新たなネットワークが構築され、シームレス化により利便性が向上するなど、今後の交流人口増加と沿線価値向上が期待されます。

4 環境対策

(電力貯蔵装置の設置)

上福岡き電区分所に車両の回生ブレーキによって発生する回生エネルギーを回収・貯蔵し、電力を有効活用することが可能となる電力貯蔵装置新設工事を推進し、2012年夏に使用開始いたします。



電力貯蔵装置イメージ図

(太陽光発電装置の設置)

春日部変電所に、変電所の内部電源や照明などの電力削減を目的とした、太陽光発電装置を設置いたします。

これまでも、鐘ヶ淵変電所・せんげん台変電所・ふじみ野変電所・川越変電所に設置しており、春日部変電所で5箇所目となります。



ふじみ野変電所 (外壁一体型太陽光パネル)

(環境にやさしい駅設備)

2012年4月20日にリニューアルオープンした、とうきょうスカイツリー駅においては、全ての照明装置に対してLEDを導入するとともに、東京スカイツリータウン®で導入されている地域冷暖房システムを駅コンコースの空調に活用したほか、改修前のホーム屋根骨組を活かしながら自然光を取り入れる膜屋根の採用、さらには、屋根上・高架上に降った雨を集めて、トイレの洗浄水等に再利用する設備の導入など、環境面に配慮して、リニューアル工事を実施いたしました。



正面口



膜屋根



デジタルサイン



旅客トイレ

以上